

別紙様式 1

平成 2 4 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県腕山放牧場	施設所在地	三好市西祖谷山村
指定管理者名	徳島県酪農業協同組合	指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日
施設所管課	畜産課	【連絡先】	088-621-2418

1 施設の概要

設置年月日	昭和 3 4 年
設置目的	県内酪農家から預けられた乳用育成牛を放牧して強靱な後継牛を育成し、本県酪農の振興を図る。
施設内容	牧場総面積 5 5 ha、看視舎 1 棟、畜舎 1 棟、堆肥舎、飼料庫 1 棟、公衆便所 1 棟、展望台 1 台
利用料金等	牛一日一頭 4 6 0 円
開館日・休館日等	放牧期間：平成 2 4 年 5 月 8 日から平成 2 4 年 1 0 月 2 4 日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	入牧している牛の飼養管理に関する業務 放牧場の施設、物品等の維持管理に関する業務 放牧場の利用料金に関する業務 その他放牧場の管理に関し知事が必要と認める業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 4 名 臨時職員 2 名 計 6 名
	業務全般の管理：1名（正規職員） 業務全般の管理補佐：1名（正規職員） 放牧場の施設、物品の維持管理に関する業務：1名（正規職員） 放牧場利用料金に関する業務：1名（正規職員） 入牧している牛の飼養管理に関する業務：2名（臨時職員）

4 施設の利用状況

利用者数 （人）		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	2 4 年度	0	16	16	16	16	16	13	0	0	0	0	0	93
	前年度	0	8	8	8	8	8	8	0	0	0	0	0	48
	前々年度	0	9	9	9	9	9	9	0	0	0	0	0	54

月別利用 料金収入 （千円）		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	2 4 年度	0	364	455	470	470	455	339	0	0	0	0	0	2,553
	前年度	0	193	276	285	285	239	224	0	0	0	0	0	1,502
	前々年度	0	267	400	414	414	400	372	0	0	0	0	0	2,267

施設毎 利用料金収入 （千円）		放牧場利用料金					計
	2 4 年度	2,553					2,553
	前年度	1,502					1,502
	前々年度	2,267					2,267

5 収支の状況

		（単位：千円）		
項 目		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度（前年度）	平成 2 2 年度（前々年度）
収入	指定管理料	0	0	0
	利用料金収入	2,553	1,502	2,267
	事業収入	0	0	236
	その他	0	924（前年度繰越）	4（前年度繰越）
	計	2,553	2,426	2,507
支出	人件費	1,572	1,668	610
	管理運営費	95	214	180
	事業費	685	544	794
	その他	0	0	0
	計	2,352	2,426	1,584
収支		201	0	923

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	放牧牛の衛生管理として、放牧期間中における定期検査（月1回）において、皮膚病対策として予防的に牛体消毒を実施した結果、従来皮膚病発症時にかかっていた治療経費の削減が図られた。
サービス向上の取組	放牧期間中の繁殖管理について、平成 2 1 年度から人工授精に加え、農家の要望に応じて受精卵移植を実施し、受胎率の向上に努めている。今年度は 2 0 頭に同期化処置を行い、人工授精及び受精卵移植を実施した結果、1 2 頭が受胎（人工授精：5 頭、受精卵移植：7 頭）であった。 平成 2 1 年度受胎率 7 8 . 6 % 平成 2 2 年度受胎率 7 3 . 3 % 平成 2 3 年度受胎率 3 0 . 0 % 平成 2 4 年度受胎率 6 0 . 0 %

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	指定管理者は、本来業務である県内酪農家から預かった乳用育成牛の放牧により、強靱な後継牛に育成に専念。希望農家の希望に応じた受胎率向上に向けた取り組みを実施。
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	放牧実施にあたり、入牧前の説明会、入牧中の検討会等により利用者の意見に対応し、退牧後に放牧期間中のデータを基に反省会を開催し、利用促進に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	指定管理者は、本来業務である県内酪農家から預かった乳用育成牛の放牧により、強靱な後継牛に育成に専念。希望農家の希望に応じた受胎率向上に向けた取り組みを実施。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	使用施設の維持管理・保守点検・清掃が定期的に実施されている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	コスト削減として入牧前の馴致指導により、入牧後の補助飼料費の節減や不食過繁草や雑草の除去による適正な草地管理を図ることにより、草地の生産性を最大限有効活用している。また衛生検査時に牛体消毒を実施することにより、皮膚病の予防効果が図られ、治療にかかる医薬品の経費の節減が図られている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	適正な管理計画及び職員配置により、管理運営が行われている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	職員の労働条件について事業計画どおり、適正に実施されている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	管理人雇用にあたり、地元雇用に努め、適正な放牧場運営管理が実施されている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	腕山放牧場まで通じる牧道が市道になっているため、市と連携を図りながら、放牧場の維持管理に努めている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	危機管理マニュアル及び緊急時の連絡時の連絡体制等の整備がされ、適正な管理が実施されている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	牧場周辺の草刈り等の清掃を実施し、景観の保全に努めている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	個人情報取扱特記事項を遵守など、適正な管理が行われている。
総合評価	A	適正に管理が行われている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

放牧場の管理運営は、入牧頭数の1日1頭あたり460円の放牧料金のみで賄っており、近年県内酪農家戸数の減少及び乳用育成牛の北海道預託牛の増加により、入牧頭数の減少が著しく、牧場の管理運営が厳しい状況になってきている。当牧場の運営経費は牧畜力から35頭の入牧頭数を確保することが可能となれば、運営が賄えるため、例年入牧頭数の確保に苦勞をしているところである。今年度は33頭の入牧頭数を確保し、収支バランスがとれた牧場運営が可能になった。
今後、継続的な牧場運営を実施するため、県内酪農家の要望に応えられる技術提供並びに新しい取り組みが求められており、関係機関等の協力体制が必要になってくる。